

晴山会 topics

VOL.60

「UR賃貸住宅における地域医療福祉拠点の取り組み」を

テーマに勉強会を開催!!

平成28年3月22日(火) 地域ふれあい広場「はなしま」



3月22日午後6時30分から8時まで、地域介護公開研究会(参加者90名)が社会福祉法人晴山会の地域ふれあい広場「はなしま」で開催された。

今回はUR都市機構東日本賃貸住宅本部関東地域住宅経営部より、地域福祉医療拠点の取り組みの担当部長である徳中聡子氏、ウェルフェア推進チームリーダーの関本恒久氏、同チーム主査の森高志氏を講師として、「UR賃貸住宅における地域医療福祉拠点の取り組み～住み慣れた地域で暮らし続けることができる環境づくり～」をテーマにした勉強会であった。

講演は、UR都市機構が超高齢社会に向けた取組方針として、急速に高齢化が進むUR賃貸住宅を行政、地域、医療福祉関係者と連携して「地域の医療福祉の拠点」形成していくこと。URと行政などが共同して関係者との協議の場を設け、地域の「高齢者等安心居住プラン」を作成し実行していくこと。またそのノウハウを蓄積して超高齢社会のまちづくりのモデル的役割を果たすことの3つを掲げ、現段階で花見川・千葉幸町・千草台団地を含む47団地で着手し、平成32年度までに100団地程度を「地域の医療福祉の拠点」として形成していくことを目指していくことを述べられ、現在こうしたUR団地で取り組まれていることを具体的な例を挙げて説明された。そして最後に、現在花見川団地で進められている連絡会議の進捗状況や取り組み内容について報告された。

花見川団地での取り組みは始まったばかりで、様々な課題があるが、その解決に向けての第一歩を踏み出したと感じる有意義な勉強会であった。

— 第56回地域介護公開研究会について —

日時： 4月20日(水) 18:30～20:00

講演： 「職場のメンタルヘルス～ストレスチェック制度の活用～」